



中田枝里さんと  
丹野愛子さんは都  
立田無工業高校の3年生。この度10月

8日(国家資格とび)3級の技能検定試験に男子学生5名と共に挑み、見事全員で合格して全国で初めて、女子高校生の有資格者になった。

「とび」3級の検定試験は、2時間以内に指定された図面通りに鉄パイプの足場を組む実技と、学科がある。

7月の実技試験に備えて、まず5月に1級の熟練者である親方の指導を受け、その後はほぼ連日足場づくりに汗を流した。そして8月には毎日3時間、学校で学科を勉強した。

汗と努力が実つての合格に、中田さんは「試験日ぎりぎりまで時間内に足場が組めなくて、自分ができるか不安だった。受かつてすこく安心したし達成感があった」。丹野さんは、親方に初めて教わった時は全くわからなかった。暑くてだるいとサボったこともあった。でも最後の2

## 女子高生で 「とび」3級に

週間は集中し、余裕があった。試験場の多摩川河川敷まで来てくれた親方にほめられたことが、受かった以上にうれしかった」と明るく笑顔。

中田さんの家は大工業。幼い頃から、大工になりたい」と思っていた。手先が器用で小学校低学年の夏休みの自由研究に、トタン屋根の、ペンキを塗った本格的な犬小屋を作った皆を驚かせている。

丹野さんは、鉄骨が好きで職人の友人にあこがれて建築科に。現場に出たい」と。やはり小学校の低学年の時に、マッチ棒で東京タワーを作った。

将来に夢を大きくくくらせている2人だが、卒業後の進路選択の段階で現実面に阻まれることに。「求人が少なかったし力仕事だから女の子は」と断られて当初の夢は仕方なく断念。しかし、その後先生の助言もあって共に「現場管理者」の道に。就職先もほぼ決まり、春には「現場管理見習い」として建築現場に立つ。

今2人は12月に実施される「施工管理技術者」の資格検定試験に向けて勉強中だ。ゆくゆくは建築士の資格も取得したいと、更なる夢を抱いている。

インタビュを終えると、2人は実際に足場を組んで見せてくれた。ヘルメットにそろいの作業着姿で、巧みに工具をあやつる姿はすっかり一人前。ちなみに側で見守る建築科の教師の1人はまだ若い女性だった。

## 児童扶養手当法が改訂に

児童扶養手当は離別、死別、未婚で出生、父に障害がある、父から遺棄された等により父と生計を共にしない児童を養育する母等に対して、その児童が満18歳になる年度末まで支給されます。

厚生労働白書では、「父がいない母子家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与することにより、児童の福祉の増進を図る」という制定時の目的が、「母子家庭となった直後の急激な家計の変動を補うためのものである」となっています。

### 母子家庭の現状

厚生労働白書(14)によると母子家庭では母親の9割近くが働いており、うち常用雇用者は5割強です。平均年収は229万円で、一般世帯の658万円の約1/3と大幅に低くなっています。

母子世帯の7割が児童扶養手当を受けており、その9割近くが離別世帯です。

離別の際、養育費を母親に渡す取り決めをしている父親は4割弱、実際に渡しているのは2割という状況で家計、住宅、健康等への不安を持つ割合が多くなっています。

今回の改訂は

厚生労働省は手当の実質的な減額(表参照)を補うため、保育所優先入所・資格取得訓練促進費支給・無利子融資を始めるとしています。

支援策を始めるとしながら、今回の改訂から新たに作成された養育費申告書により、養育費の8割が母子世帯の所得に加算され、手当受給の収入制限を越える可能性が大きくなります。

現在の経済状況の中で、仕事をしたくても就職できない、低賃金で不安定雇用の母親にとって児童扶養手当の減額は大きな痛手になると思われます。

### 改訂の推移

改訂年月	全額支給	減額して支給
平成9年8月～	204.8万円未満	204.8～407.8万円未満
平成10年8月～	204.8万円未満	204.8～300万円未満
平成14年8月～	130万円未満	130～365万円未満

1. いずれにしても母親と児童1人の世帯の年収の場合。
2. 手当を受けている母等に扶養義務親族(父母・きょうだいなど)がいて同居している場合、一定以上の所得があれば手当支給の判断要件となります。